

資料提供
広報取材依頼

大田市

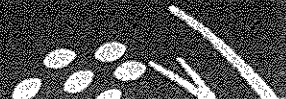
情報提供日	令和6年1月23日
問い合わせ先	産業振興部農林水産課：重田
	Tel 0854-83-8083

報道機関への情報提供（取材依頼）について

1、行事名	若林酒造有限会社 若林邦宏代表取締役の市長表敬訪問
2、目的	「つなぐ棚田遺産」特別感謝状を授与した若林酒造有限会社 若林邦宏代表取締役が市長を表敬訪問し、感謝状授与の報告会を行います。
3、開催（実施）期間	令和6年1月29日（金）
4、開催（実施）時間	午後3時00分から午後3時30分：予定
5、開催場所	大田市役所2階 応接室
6、主催	大田市
7、後援	—
8、行事の内容	下記のとおり
<p>農林水産省が主催し棚田地域の維持・発展に貢献する企業・大学等に感謝状を贈呈する「つなぐ棚田遺産」未来へつなぐ部門にて、特に優れた取組を実施する企業等に贈呈される特別感謝状の授与を受けた若林酒造有限会社 若林邦宏代表取締役が市長を表敬訪問し、結果を報告します。</p>	



棚田からみなさんへ



感謝状を
贈呈!

がりを
つなぐ
伝えたい。

つなぐ棚田遺産

TSUNAGU TANADA HERITAGE



棚田地域の維持・保全・振興等に貢献する
企業・大学等の皆様に感謝状をお贈りします。

応募
期間

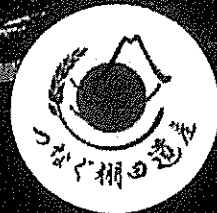
2023年9月6日^木～10月13日^金まで

表彰には審査がございますので、裏面の詳細情報をご確認くださいませ。

つなぐ棚田遺産

感謝状とは

棚田地域の維持・保全・振興等に貢献する企業・大学等の取組実績を積極的に評価し、推薦する候補企業などに感謝状をお贈りします。



つなぐ棚田遺産について

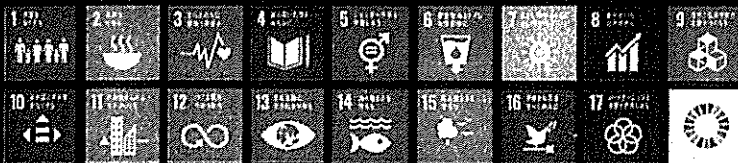
棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対する、より一層の理解の促進を図ることを目的として、令和4年3月に271の棚田を農林水産大臣が「つなぐ棚田遺産」に認定。

感謝状の趣旨

棚田地域の維持・保全・振興等に貢献する企業・大学等の取組実績を積極的に評価し、推薦する候補企業などに感謝状をお贈りします。

棚田地域振興の取組はSDGsの17の目標に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



こんな企業様が、棚田地域の維持・保全・振興に貢献されています。

オフィシャルサポーター企業様をはじめとして、日本全国の企業様が「つなぐ棚田遺産」の取り組みにご協力いただいています。

- 社会貢献活動をしたい
- 社員交流の場を持ちたい
- 社員や家族に農業体験をさせたい
- 地域のみなさんに貢献したい

応募方法

応募方法① 都道府県による推薦 (概ね各都道府県1団体)

都道府県は推薦書を作成し、応募先のアドレスに提出します。推薦書の様式のダウンロードや推薦方法の詳細については、農水省ホームページをご確認ください。
<https://www.maff.go.jp/f/housin/taneda/iancyajyobocoyu.html>

応募方法② 事務局による推薦

応募期間 9月6日(水)～10月13日(金)

応募先 農林水産省「つなぐ棚田遺産感謝状事務局(株式会社マリッジリンク内)」
 ml@marriage-link.jp

推薦の基準

- ① 対象企業等 —— 概ね各都道府県1企業
- ② 対象となる取組 —— 高齢化や担い手不足等の棚田地域の課題を踏まえた支援に係る取組

特別感謝状 特に優れた取組を実施する企業等に贈呈。

優れた取組を実施する企業等に下記各部門から贈呈。

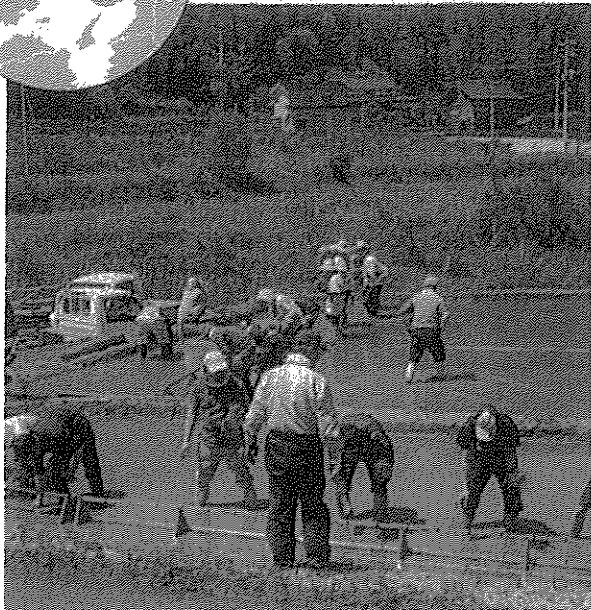
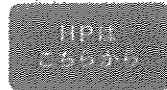
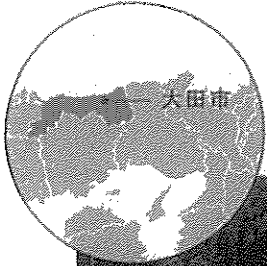
- 「未来へつなぐ」部門 主に「未来」を考慮
- 「人と人をつなぐ」部門 主に「関係」を考慮
- 「クリエイティブ」部門 新しく独自の取組を考慮

- 選定委員**
- 池邊 このみ(千葉大学グランドフェロー)
 - 黒田 乃生(筑波大学芸術系教授)
 - 樋田 かおり(株式会社トクナビ代表取締役/アナウンサー)
 - 中島 淳(福岡県保健環境研究所専門研究員)
 - 中島 輝広(棚田ネットワーク名誉代表/早稲田大学名誉教授)
 - 水柿 大地(NPO法人英田上山棚田同郷会/みんなの孫プロジェクト代表)
 - 山路 永司(棚田学会会長/東京大学名誉教授)
 - 山本 早苗(常盤大学社会環境学部社会環境学科教授)

夢のある米作り・酒造りで伝えようヨズクハデのある棚田の風景

若林酒造有限公司

取組開始 16年 開催場所 西田ヨズクの里



酒米「亀の尾」



保存会との記念撮影

きっかけ

平成18年、石見銀山遺跡の世界遺産登録を控え、西田地区において銀山街道とヨズクハデのある棚田の景観保全に向けた地域の連携が高まっていたこと。

取組内容

自主的に結集した会員同士が農業体験を通じて時間を共有し合い、地域の自然、歴史や文化に触れながら都市交流を深め、地域・人づくりへの活動を行っている。

県の推薦理由

西田地区との連携を契機とした会員数の増加は棚田地域の活性化とヨズクハデの保存に大きく貢献していること、また将来に渡る取組みの継続が期待されることから、県として推薦を行う。

喜びの声

この度は特別感謝状を賜りありがとうございます。西田地区での活動も19年目、石見銀山街道の棚田景観の保全活動は地域をはじめ、賛同する会員、社員との交流により育まれてきました。この受賞を機に益々励んで参ります。



棚田地域からの感謝の言葉

この度の感謝状の授与、大変おめでたうございます。また、平成18年からの若林酒造を中心とする、「酒仙蔵人 五郎の会」の皆さんとの農業体験交流を通じた活性化の取組みにより、集落の維持に繋がっていることに感謝しています。今後も西田の季節の風物詩となる「ヨズクハデ」のある棚田の景観を後世につなげたく、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

西田ヨズクの里

「つなぐ棚田遺産」感謝状贈呈企業等一覧

NO	企業等名	特別感謝状
1	株式会社 モンテディオ山形	○
2	沼田土建 株式会社	
3	株式会社 ウェブサクセス	○
4	常葉大学	○
5	岡崎酒造 株式会社	○
6	飯山市立 東小学校	
7	公立大学法人 長岡造形大学	
8	実践女子大学	
9	NPO法人当目	
10	氷見伏木 信用金庫	
11	横浜ゴム株式会社 新城工場	
12	岐阜県 信用農業協同組合 連合会	
13	立命館大学 経済学部	
14	若林酒造 有限会社	○
15	山口大学 トムソーヤー(ズ) 山口県立大学family	
18	学校法人 四国大学	
16	公益財団法人 福武財団	
17	一般財団法人 本山町農業公社	
19	トヨタ自動車九州 株式会社	
20	大和リース株式会社 長崎支店	
21	株式会社 まちづくりやべ	
22	特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校	
23	株式会社 ビートル	